

「子はかすがい、子育ては春日井」パワーアップ事業 地方創生推進交付金にかかるKPI検証について

1 地方創生推進交付金の概要

平成28年度から地方版総合戦略の本格的な推進に向け、国は次のとおり地方創生の深化のための新型交付金を創設しました。

- ① 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- ② 事業費の1/2を国から地方公共団体に交付

また、事業の推進にあたっては、効果的なPDCAサイクルを実施するため、重要業績評価指標（KPI）を設定するとともに第三者機関による検証が求められています。

2 事業の位置づけ

本市は、平成28年3月24日に「子はかすがい、子育ては春日井」宣言を行い、長期的な視点で、本市居住の魅力＝「暮らしやすさ」を磨き上げ、「子はかすがい、子育ては春日井」ブランドを醸成することにより、その魅力を市内外に積極的に発信していくこととしました。そして3年計画の事業、「『子はかすがい、子育ては春日井』宣言推進事業」を平成30年度までで完了しました。

令和元年度は、新たな2年間の事業「『子はかすがい、子育ては春日井』パワーアップ事業」のスタートとして、これまであった事業を強化しつつ、子育て世代の母親が地域社会の中で活躍することを促進する事業を新たに始めました。

3 令和元年度の取組の概要

(1) ママインターン（H28～）

結婚、出産を機に「働く」ことから離れている女性に、就労体験を通じて子育てしながら働くことについて体感してもらう取組です。

「こんな仕事が向いてるんだ」や「このペースなら仕事と家庭の両立ができる」など、自分に合ったライフスタイルの発見をサポートすることができました。

令和元年度は、参加機会を増やすために春・秋の年2回の開催とし、1人当たりのインターン期間を2か月から1か月としました。

	受入可能事業所	参加者
H28	11カ所	11名
H29	16カ所	13名
H30	16カ所	8名
R1	18カ所	10名

(2) お仕事見学バスツアー（H30～R1）

子育て中の母親が働いている市内の事業所を見学することで、働きながら子育てをするイメージを持ってもらうため、「ママのためのお仕事見学バスツアー」を実施しました。

令和元年度は参加機会を増やすために春・夏の年2回開催しました。また、親子で参加できるものとするため夏休み期間中に開催しました。

	実施日	参加者数	見学先
H30	平成30年12月5日	15人	内職市場（内職請負業） イマヨシ（仏具製造）
R1 春	令和元年5月30日	12人	ホンダロジコム（物流センター） ベティさんの家（介護付き有料老人ホーム）
R1 夏	令和元年8月22日	6人 +子ども8人	CCnet春日井局（ケーブルテレビ局） ナフコ不二屋岩野店（スーパーマーケット）

(3) ままなび（R1～）

講座を通じて自らが暮らす地域社会へと目を向けてもらい、主体性を高めることで、受講者の地域活動への参加を促進する取組です。子育て中の母親が子育てしながら社会でいきいきと活躍することをめざします。

	実施日	参加者数	テーマ
第1回	令和2年1月16日	8人	「乳児院で暮らす子ども」 「アレルギーを持つ子ども」
第2回	令和2年1月20日	9人	「外国にルーツのある子ども」
第3回	令和2年1月30日	6人	「発達障がいを持つ子ども」

4 KPI（重要業績評価指標）の達成状況

地方創生推進交付金の活用にあたり、交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

① 事業を通じた再就職者数

	当初値 (H28～30累計)	1年目 (H28～R1累計)	2年目 (H28～R2累計)
目標値	15人	17人	19人
実績値		19人	—

② 事業への参加希望登録事業所数（ママインタビュー受け入れ可能事業所数）

	当初値 (H28~30累計)	1年目 (H28~R1累計)	2年目 (H28~R2累計)
目標値	16事業所	18事業所	20事業所
実績値		18事業所	—

③ 就労体験報告会参加者数

	当初値	1年目 (R1)	2年目 (R2)
目標値	0人	20人	30人
実績値		15人	—

④ 事業を通じた地域活動やボランティアに参加した者の数

	当初値	1年目 (R1)	2年目 (R1~2累計)
目標値	0人	2人	4人
実績値		0人	—

5 令和元年度の総括

『子はかすがい、子育ては春日井』パワーアップ事業」の1年目である令和元年度は、子育て女性の考え方の幅を広げる「ママインタビュー」や「バスツアー」に加え、参加者が自分以外の子どもたちについて知ること、主体性を高め、地域活動への参加につなげる「ままなび」を実施しました。

KPI①「事業を通じた再就職者」に関しては、目標を上回ることができました。就労体験後に体験先の企業に就職したママインタビュー参加者もいるなど、就労を促進する事業として効果を上げているものと考えられます。

KPI②「事業への参加希望登録事業所数」に関しては、今年度の目標を達成できしており、市内事業所の中で、子育て中の女性を働き手として受け入れる意欲の促進と、受け入れのための体制の構築につながっているものと考えられます。

KPI③「就労体験報告会参加者数」に関しては、目標達成はできませんでしたが、子どもを遊ばせながらでも聞きやすい場所や多くの母親が集まるオープンスペースで実施するなど、より多くの報告会参加者を集められるよう改善していきます。

KPI④「事業を通じた地域活動やボランティアに参加した者の数」に関しては、ままなびを通じて8名の参加者が乳児院や日本語教室でのボランティア活動を体

験する予定となっていました。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、実績はゼロとなっています。

6 今年度の取組方針

(1) ママインターン

ママインターン参加者の希望ニーズや子育て支援現場の人材ニーズ等を踏まえ、体験先を子育て関連の事業所及び施設とする予定です。それにより、自分に合った働き方の発見をサポートし、参加者と事業者双方のニーズを踏まえた就労につなげることをめざします。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ママインターン事業は現在一時中止しており、再開時期については、今後の状況に応じて検討していきます。

(2) ままなび

学びの要素の高い「ままなび」については、学びの機会を増やすために年2回実施します。また、学んだ内容をママインターンですぐに体験できる機会を提供することなどにより、それぞれの取組の連携により相乗効果を生み出すように進めていきます。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を一時中止していますが、9月下旬から再開していく予定です。